

山北小学校
北小学校より

山北っ子

H30.10.5
第7号

文責
 上 佳宏

前期終了を迎えるにあたって

通知表「あゆみ」について

本日（十月五日）で、前期が終了します。四月からの六ヶ月間で、子どもたちは、授業や学校行事など日々の教育活動とおし、学力をつけたり、心を磨いたり、体を鍛えたりしてきました。その途中経過を、前期通知表「あゆみ」としてお伝えします。

この「あゆみ」が、すべての子どもたちにとって大きな励ましの一つになることを願い、「学習のようす」「くらしのようす」「学校から」などを見て、親子で確かめ合ってほしいことが二つあります。

○ お子様のよいところや前期に努力したこと

○ 後期は、何にチャレンジしていくのか

以前は中学校から行うものとされていた「進路指導」は、現在では「キャリア教育」と呼ばれ、小学校段階から取り組む必要性が唱えられています。つまり、子どもたちの発達段階に応じて「社会の中で自分の役割を果たしつつ、自分らしい生き方（すわわち「夢」）を、どう実現していくのか」を考えさせ、早い段階から自立した社会人となるための基盤をつくっていくことが必要なのです。そして、



その成長や発達の過程でとても重要になってくるのは、「自己肯定感」と「挑戦する勇氣」だと、私は思っています。

前期の自分を振り返る中で、「私が頑張ったところは○○です」「私のよいところは○○です」「僕はこれから、○○を頑張ります」と言えることは、お子様の更なる成長や発達につながります。保護者の皆さまには、ぜひ前述した二つの視点で、お子様と「あゆみ」を見ていただくようお願いいたします。

最後になりましたが、前期に賜りました保護者や地域の皆様からのご支援ご協力に、深く感謝申し上げます。

和水 玉東陸上記録会 開催

九月二十七日（木）に和水、玉東町の小学校七校の四年生以上が三加和グラウンドに集まり、陸上記録会が行われました。子どもたちはこの大会に向けて、九月から本格的に練習を続けてきました。

今年度は、大会新記録こそ山北小学校からは出ませんでした。みんな全力を尽くして競技し、自己新記録を出した児童は数多くいました。記録会ですから、他校と比較するものではありませんが、終日子どもたちを見ていて、「山北小の子ども



もは脚力があるな」という感想を持ちました。また、応援の態度もとても立派でした。これは他校も応援も含めて、全体の雰囲気がとても良い陸上記録会だと感じました。

お二人の先生、大変お世話になりました

お二人の先生が、この度、山北小学校を離れられることになりました。

一人目は、特別支援教育支援員の井上定子先生で、病氣療養のため、一端退職されます（休職と考えています）。井上先生には、主に一・二年生に入っていたいただき、子どもたちの個別の学習支援をしていただきました。なお後任には、昨年度教育実習にいられていた児玉夏姫（なつき）先生が、来年三月まで任用されることに、本日決まりました。

二人目は、ALTのフアウラ・ジョセフ（ジョー）先生で、木葉小のヴァレリア先生と交代されます。ジョー先生の楽しい授業のおかげで、山北小の子どもたちの多くが外国語活動の時間が大好きになりました。また次年度以降、一緒に学習できるといいですね。



※熊本県教育委員会の広報誌「教育くまもと（No.85）」に山北小学校の「森の学」が紹介されています。県教育委員会のホームページ（本校ホームページからジャンプできます）をご覧ください。